

## 「大規模な土砂災害を想定した国・長野県・小谷村等 による合同防災訓練」を実施します

近年、神城断層地震や御嶽山の噴火、広島豪雨災害、関東・東北豪雨災害と、長野県内をはじめとして、全国各地で土砂災害が頻発しています。

このような大規模な土砂災害に適切に対応するため、土砂災害防止法や災害対策基本法の改正により、災害対応時における国・県・市町村の役割分担が明確にされたことを受けて、国土交通省松本砂防事務所では、管内の関係行政機関とともに「信濃川上流・姫川流域地域連携会議」を設置し、災害発生時の役割分担や連携内容を確認しています。

本訓練は、連携会議に基づき、昨年11月の神城断層地震で土砂災害が多発した小谷村を対象として、大規模土砂災害発生時に住民を適切に避難させるために、関係機関が取るべき一連の行動を確認・共有し危機管理体制を強化することを目的としています。

### 1. 訓練日時

平成27年11月17日（火）13:00～17:00

（スケジュールは、別紙1を参照）

### 2. 開催場所

小谷村役場内多目的ホール（長野県北安曇郡小谷村大字中小谷丙131）

### 3. 参加機関

松本砂防事務所、長野県（危機管理部危機管理防災課、建設部砂防課、姫川砂防事務所、大町建設事務所・北安曇地方事務所）、小谷村、長野地方气象台、大町警察署、北アルプス広域消防本部

### 4. 訓練詳細

司会進行者が災害シナリオに沿って、天候や災害状況にあわせた質問を参加組織に投げかけ、訓練参加者が組織としての対応や関係機関との連携について回答する質疑応答型で実施します。

また、解説者が得られた回答に対し解説し、回答した組織や他機関の組織が連携対応の確認を行います。（詳細は別紙2を参照）

資料配付先  
松本市政記者クラブ  
その他 専門紙

### 問合せ先（事務局）

北陸地方整備局 松本砂防事務所

電話：0263-33-1115（代表）

副所長（技術） 山崎 忠（内線204）

調査課長 渡邊 剛（内線351）

## 【訓練スケジュール】

|   | 実施事項                          | 時間          |
|---|-------------------------------|-------------|
|   | 集合・受付・準備（備品、服装等の確認）           | 12:30～13:00 |
| 1 | 開会                            | 13:00       |
| 2 | 開会挨拶（松本砂防事務所長）                | 13:00～13:05 |
| 3 | 訓練の進め方等の確認（13:15までに事前アンケート記入） | 13:05～13:15 |
| 4 | 解説者付学習型訓練                     |             |
|   | ①ステージ0【情報収集と警戒活動】             | 13:15～13:45 |
|   | ②ステージ1【初動対応】                  | 13:45～14:30 |
|   | （休憩 15分）                      | 14:30～14:45 |
|   | ③ステージ2【緊急調査等の対応】              | 14:45～15:30 |
|   | ④ステージ3【河道閉塞に対する監視・観測、応急対策】    | 15:30～16:00 |
| 5 | アンケート記入                       | 16:00～16:15 |
| 6 | ふりかえり・意見交換                    | 16:15～16:45 |
| 7 | 全体講評（小谷村長）                    | 16:45～16:55 |
| 8 | 閉会                            | 16:55～17:00 |

## 【訓練方法】

(1) 訓練ステージ（想定される状況に応じた段階毎に訓練を行う。）

ステージ0 情報収集と警戒活動ステージ

降雨状況に応じた土砂警戒情報発表や各種気象情報の収集の対応

ステージ1 初動対応ステージ

同時多発的な土砂災害及び大規模土砂災害の発生に伴う対応

ステージ2 緊急調査等の対応ステージ

緊急調査や現地調査の実施や調査結果を受けての住民避難への対応

ステージ3 河道閉塞に対する監視・観測、応急対策ステージ

河道閉塞に対する監視・観測、応急対策の対応

(2) 訓練の進め方

「司会進行者」と「訓練参加者」にわかれ、想定した災害シナリオに則して状況付与を行った上で、「司会進行者」は「訓練参加機関」に、その対応について様々な「質問」をし、「訓練参加機関」は「回答」（相談しても良いが時間的余裕は与えない）する形式で進行する。また、専門家の立場から解説者により対応行動や制度等についての解説や必要に応じてステージの総括を行う。

このように、逐次対応する形で行うので、実時刻に基づいた進行とはならない。

